

お話

鹿児島大学教育学部附属幼稚園

政野 幸恵先生

鹿児島大学教育学部附属小学校

榊 将和先生

特別の教科 道徳の特徴

特別の教科 道徳は、学校の教育活動全体で行う道徳教育の要であり、内面的な資質である「よりよく生きるための基盤となる道徳性」を養うことを目指しています。

幼児期では、遊びの中で、友達の気持ちを理解したり、共感したりする中で、きまりを守る必要性を理解し、相手の立場に立って行動することができるようになっていきます。

例えば、幼児期でよくみられる「動植物やぬいぐるみになりきる」「年長クラスの幼児が年少クラスの幼児のお世話をする」といったやり取りは、「親切、思いやり」「友情、信頼」といった、小学校学習指導要領における内容項目「B主として人との関わりに関すること」の視点につながります。「相手の立場に立って考える」「相手の喜びを自分の喜びとして感じる」といった体験を通して、「親切の意義」や「友達の大切さ」などを体得していきます。

こういった体験を豊かにすることで、自己中心性から未脱却の発達段階にある小学校低学年期においても、友達と折り合いを付けていこうとしたり、助け合いながら協働的に活動に取り組もうとしたりする姿につながっていきます。

幼児期の遊びを通した学び

幼児期には、幼児は自分以外の幼児の存在に気付き、社会性が著しく発達していきます。幼児が遊びを通して友達と十分に関わって生活することで、社会性、道徳性が培われていきます。

具体的には…

- 砂場で山や海をつくって遊ぶ中で、自分のイメージを友達に伝えたり友達の言葉を聞いたりして、友達と思いや考えを共有している
- 曲に合わせて自由に表現したり、友達の動きに合わせて動いてみたりすることで、友達と一緒に表現することを楽しんでいる
- お店屋さんごっこをしたいという思いから、イメージした品物を自分たちで作って準備し、年下の子を招待して、優しく接したり、思いやったりしている
- 友達と誘い合って鬼ごっこを始めるとき、鬼決めや逃げる場所などのルールを確認し合い守ろうとしている

幼児期の 遊びを通した学び

と

特別の教科 道徳 善悪の判断、 自律、自由と責任

とのつながり



遊びを通した学び

「フルーツバスケットする人
この指とまれ」仲間を集めて遊びを始めようとする
と、小さい組の子がいた
ことに気付いた。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

4歳児の戸惑いに気づき、どうしたらよいかを考えることができ
るよう、「どんなルールだったかな」と5歳児に問いかけます。
5歳児は、4歳児にも分かるように話し方を考えます。大勢で遊
ぶにはルールを共有する必要があることを実感していきます。



遊びを通した学び

鬼ごっこをしているうち
にルールが変わっていき、
捕まえることができずに
遊びが中断。「みんなで話
し合おうよ」と呼びかけて
いる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

遊びが中断したときを捉えて、「なんだかうまくいなくなっ
ちゃったね」などと投げかけ、自分たちで考える姿を見守りま
す。気持ちや考えを言葉でやり取りする中で、楽しく遊ぶため
にはルールを守る必要があることに気付いていきます。



遊びを通した学び

「どこにどの絵本があるか分からない
よ」「コーナーをつくっておける」と、分か
りやすい方法を考え、絵や文で示
している。



遊びを通した学び

「どっちが高いかな」「負けないうよ」
「こっちの方が高いよ」二組に分か
れて小さな積み木の高さ競争を
し、負けても気持ちを切り替えて
再度挑戦している。



遊びを通した学び

3歳児がかけっこの練習
をしていることに気づき、
「がんばれ！」と伴走しな
がら励ましたり、コー
スから外れないように
手を広げて案内したり
している。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

年下の子が一生懸命に走る姿を見て、自分にできることを考
えて行動する姿を捉え、学級で紹介します。よいと思うこと
を進んで行おうという意欲や態度につながっていきます。



遊びを通した学び

「待って！そこは掘らぬで」「こ
こに道をつきなさい」と意見の食い違
いが起きてしまったが、自分の
考えを伝えたり、友達の考えを
受け止めたりしている。



幼児教育を通して育まれた10の姿

- 道徳性・規範意識の芽生え
- 協同性

※これらの活動では他にも「健康な心と体」「言葉による伝え合い」「思考力の芽生え」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「善悪の判断、自律、自由と責任」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。



小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 身近な人と関わりながら活動することで、してよいことと悪いことがあることを知ること
- 相手の立場に立って行動し、よいと思うことを進んで行うこと

幼児期の遊びを通した学び

気持ちのぶつかり合いの場面で、ルールを共有しようとしている。
年下の子の手伝いを進んで行おうとしている。

ねらい

よいことをするとは、自分がよいと考えたことを進んで行っていくことであるということに気付き、他者との関わりの中で、自らの体験場面と重ね合わせて多面的・多角的に考え表現することを通して、自分自身の生き方を見つめながら、よいと考えたことを進んで行っていこうとする道徳的判断力を育てる。

内容項目

①第1学年及び第2学年

よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。

②第3学年及び第4学年

正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。

③第5学年及び第6学年

自由を大切に、自律的に判断し、責任のある行動をすること。

【授業展開例】

気付く

よいことをすることについての捉えを発表する。



★これまでによりことをしたなと思うことがありますか。

- 年下の子を手伝ってあげたよ。
- 電車で席を譲ったよ。
- 先生の話をしっかり聞くことができたよ。

★みんな、これまでもたくさんよいと思うことをがんばってきたんだね。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期における遊びや日常生活の中で行動を想起させながら、自他の捉えを比較させる。

さぐる

よいことをすることについての捉えの曖昧さに気付き、考えていきたい問題を見付ける。



★先生は、電車で席を譲ろうと思って立ち上がったけれど、声を掛けられなかったことがあったんだけど、これはよいことをしたと言えるかな。

- 譲ろうと考えたことはいいと思うよ。
- 声を掛けられなかったら、だめじゃないかな。
- どちらとも言えないな。

よいことやよくないことや
みんなで考えたいな！



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを生かして、子供たちが自分の気持ちや立場を優先してよいと思うことが難しかった場面を想起できるような発問を設定する。

よいことをするとは、どういうことだろう。

見付ける

教材文を読み、主人公の行動に対する捉えとその理由について話し合う。



★主人公は、よいことをしたと言えるだろうか。

- 言えるよ。友達を助けたからね。
- 助けたとは言えないのではないかな。
- 声を掛けていないから先生の話と似ているよ。
- 注意できていたらよかったと思うな。

★どちらかに決めることは難しそうですね。



どうして言えないと思うの？



深める

話し合いの中で生まれた問いについて、さらに話し合う。



★言おうと思っただけでもよいことをしたと言えるのだろうか。

- やっぱり実際に言わないとよいとは言えないよ。
- 後のことや家族や、いろいろな人のことも考えたら言った方がいいよ。

★よいと思ったら進んでやってみることが、大切なかもしれませんね。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人の気付きを拾い上げながら、クラス全体で共有していくことで、見方・考え方を養っていく。

見通す

学習したことを振り返り、自分なりの考えをまとめる。



★よいことをするとはどういうことかについて自分なりの考えを話し合ってみましょう。

- よいことをすることは、考えたことをやってみることだと思う。
- これからも、よいと思ったら勇気を出してやっていきたい。

★最後に先生の話をお聞きしましょう。



幼児期の 遊びを通した学び

と 特別の教科 道徳 家族愛， 家庭生活の充実 とのつながり



遊びを通した学び
「どんな七夕飾りをつくろうかな」と自分がつくりたい飾りを考えたり、家族の分も飾りをつくったりして、七夕飾り製作を楽しんでいる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

家族と一緒に願い事を考えたり、飾りをつくったりする機会をつくります。幼児は園での出来事を家族に積極的に話し、話す喜びや受け止められる嬉しさを味わい、愛情を感じながら、より一層家族への思いを深めています。



遊びを通した学び
「先生、こんなのをつくったらいいんじゃないかと思って持ってきたよ」とお家で見つけたチラシを見ながら、お店屋さんごっこに使うチラシをつくっている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児のアイデアを認め、チラシづくりを見守ります。また、チラシをきっかけに、家族との買い物やお店の人とのやり取りなどの体験を想起し、遊びに再現していく中で、自分の生活には様々な人が関わっていることに気付いていきます。



遊びを通した学び
あじさいを見つけて「先生、切って持って帰ってもいいですか」「ママにおげの」と園庭で花を探して花束をつくっている。



遊びを通した学び
「今日はお姉ちゃんの誕生日だからケーキをつくっているの」「これはプレゼント」と、大好きな家族が喜ぶように考えながらつくっている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

誕生日をお祝いしたい、喜ばせたいという幼児の思いが実現するよう、使い慣れた廃材の他にもイメージをくすぐるような材料を要求に応じて出せるように用意しておきます。



遊びを通した学び
園で収穫したアズノの実でジャムをつくることが決まると、「お母さんが、砂糖が必要だって言ってたよ」と、教わったやり方を嬉しそうに話しながらつくっている。



遊びを通した学び
「取って」「早く」など親子で様々なゲームをしながら、親子で触れ合う時間を楽しんでいる。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 社会生活との関わり
- 自立心

※これらの活動では他にも「道徳性・規範意識の芽生え」「思考力の芽生え」「豊かな感性と表現」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「家族愛， 家庭生活の充実」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 家族が自分にとってかけがえのない存在であるという気持ちをもつこと
- 家族のために自分ができることを考えて役に立つことを行うこと

幼児期の遊びを通した学び

見つけた花や木の実を持ち帰って、家族を喜ばせようとしている。
家族のために、作品を製作しようとしている。

ねらい

家族を手伝うことは、家族の役に立つ喜びを感じられるよさがあるということに気付き、他者との関わりの中で、自らの体験場面と重ね合わせ、多面的・多角的に考え表現することを通して、自分自身の生き方を見つめながら、家族のために自分にできることを進んでしていこうとする道徳的心情を育てる。

内容項目

①第1学年及び第2学年

父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。

②第3学年及び第4学年

父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。

③第5学年及び第6学年

父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。

【授業展開例】

気付く

家での手伝いについて発表し、なぜ手伝うのかについて話し合う。



- ★園にいたときは、家族のために、どんなことをしたことがあるかな？
 - 家族のために、プレゼントをつくったことがあったよ。
 - 洗濯物をたたんだことがあったよ。
- ★みんなは、どうしてお手伝いをしているのかな？
 - 家族が喜ぶから。
 - 親にお願いされるから。
- ★他にも、お手伝いをする理由ってあるのかな？

言われたらやっていたので、考えたことがなかったな！



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期におけるお手伝いの経験を想起させながら、意見を出し合うことができるようにする。

どうして おてつだいをすると よいのかな。

さぐる

教材を読んで、手伝いをする理由について話し合う。

- ★楽しいことをしているのに、お手伝いに行くことができるだろうか。
 - 途中でやめて手伝うのは難しいよ。
 - 夜中まで働いているお母さんのことを考えたらできる。
 - 手伝ってあげたいけれど、遊びたい気持ちもある。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期における家族との触れ合いや手伝って喜ばれた経験を想起できるようにする。

見付ける

遊びをやめてまで手伝いをする事ができるか、さらに話し合う。

- ★遊ばせてくれてもよいのではないだろうか？主人公になりきって、発表してみよう。
 - 子供だから甘えてもいいのではないかな。
 - 遊びは、後でもできるけれど、お手伝いはその時しかできない。
 - 今しないと、お母さんが一人することになる。
 - 手伝った方が、お母さんが助かる。
- ★〇〇さんは、どんな気持ちで「甘えてもいいのではないか」と言ったのかな？
 - 自分も「ちょっと待って」ってお母さんに言うことがあるよ。
 - 確かに「今遊んでるの」と言うことがあるな。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

役割演技を行い、主人公の心情に自我関与させながら、表出された考えをクラス全体で共有していくことで、見方・考え方を養っていく。

深める

家族を手伝うことのよさについて話し合う。

- ★手伝うことは誰のためになるのだろう。
 - お母さんが、少しでも早く眠ることができる。
 - 自分が手伝えば、家族と一緒に遊ぶ時間ができる。
- ★家族を手伝うことで、自分にとっていいことがあるのかもしれないね。



お母さんを手伝えば早く終わる！



見通す

本時の学習をまとめ、生かしていきたいことを考える。

- ★手伝いをするよさについて、話し合ってみましょう。
 - 家族が楽になるだけでなく、自分も嬉しくなるね！
 - 自分のことを自分でするだけでも、役に立つと思うよ。
- ★最後に先生の話をお聞きしましょう。



幼児期の 遊びを通した学び

と

特別の教科 道徳 自然愛護

とのつながり



遊びを通した学び

たくさん集めたどんぐりをよく見ると、形に違いがあることに気付いた。「これは何だろう」と図鑑と照らし合わせ、種類ごとに分けている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児の気付きに応じて、図鑑や種類分けに使えるような容器を準備します。「この種類が少ない」「もっと集めたい」などの思いを捉えて、「どこにあるかな」などと問いかけることで、身近な自然への興味や関心が広がっていきます。



遊びを通した学び

池にいるエビやメダカを捕まえた。「水族館にして他のクラスの友達にも見せたい」と水槽に入れて大切にお世話をし、水族館ごっこを始めた。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

捕まえた嬉しさから大切に育てたい、見せたいと幼児の心が動いていったことを大切に、幼児自ら場づくりができるよう環境を整えます。水族館ごっこを進める過程で、友達と考えを伝え合い、生き物を飼育する意識や愛着が芽生えていきます。



遊びを通した学び

たくさんの落ち葉を集めてその中に寝転び「先生見て！葉っぱのお布団」と葉っぱのすれ合う音や匂いなど様々な感触を味わっている。

遊びを通した学び

自分たちで育てているキュウリが大きくなると「先生、キュウリ食べたい」と思いが膨らみ、「何にして食べる？」「サラサしよう」と思いを伝え合っている。



主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

衛生面や安全面に配慮しながら、育てた野菜を食べたい思いを実現していきます。植物の世話をしてきたことが、実がなる嬉しさや収穫の喜びにつながることを感じていきます。



遊びを通した学び

テントの上にバッタを発見。「届かないよ」「椅子を持ってきて」「僕の方が背が高いわから届くよ」とバッタを捕まえるために試行錯誤している。



遊びを通した学び

伐採された木の枝を見て「木の家を建てたい」という思いをもった。「この枝を使おう」「こっちの方がいいよ」など友達とイメージを共有しながら枝を探している。

幼児教育を通して育まれた10の姿

● 自然との関わり・生命尊重

● 思考力の芽生え

※これらの活動では他にも「道徳性・規範意識の芽生え」「協同性」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」などの姿も見られますが、ここではあえて「自然愛護」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 身の回りの動植物に触れて様々に心を動かす体験を積み重ねながら、身近な自然に親しみをもつこと
- 動植物の成長の過程を間近に見ながら愛着をもち、大事に守り育てようとする気持ちをもつこと

幼児期の遊びを通した学び

落ち葉や生き物に触れるなど自然と関わろうとしている。
園庭で見つけたどんぐりを図鑑で進んで調べようとしている。

ねらい

生き物に優しくするとは、生き物についてよく知ることが大切であるということに気付き、他者との関わりの中で、自らの体験場面と重ね合わせ、多面的・多角的に考え表現することを通して、自分自身の生き方を見つめながら、生き物を大切にしていこうとする道徳的心情を育てる。

内容
項目

①第1学年及び第2学年

身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。

②第3学年及び第4学年

自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。

③第5学年及び第6学年

自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。

【授業展開例】

気付く

生き物に優しくできた経験とできなかった経験を発表し合う。



- ★これまでに、生き物に優しくできたことってありますか？
 - 池にいるエビやメダカを捕まえて、育てたよ。
 - ペットのお世話をしているよ。
- ★園の生活の中で、何か育てたことがあったかな？
 - 青虫を育てて、ちょうちょになったよ。
 - バッタを捕まえたこともあったよ。
- ★みんな、たくさん生き物と触れ合ってきたんだね。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期における自然と触れ合った経験について事前アンケートを生かして、想起することができるようにする。

さぐる

日常生活の中にありそうな問題を提示し、考えたいことを話し合う。

- ★先生も子供の頃、くわがたを育てていたのだけれど、途中で死んでしまったんだ。これは、生き物に優しくできたと言えるかな。
 - 大事に育てていたのなら仕方ないと思うよ。
 - 優しいとは言えないけど、難しいね。
 - 最後まで育てられたらよかったと思う。

自分にもそんなこと
あったな！それは、優しい
と言えるか難しいな



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の経験の想起から、自分の捉えと自分の行動の矛盾に気付くことができるようにするなど、主体的に考えたい問いを見いだすことができるようにする。

いきものにやさしいとは、どういうことだろう。

見付ける

教材を読んで、生き物に優しくすることについて話し合う。



- ★主人公は、生き物を大切にしていたのだろうか？
 - 大切にしていたと思うよ。
 - 自然が大好きだからいいと思うよ。
 - 捕まえるのは、生き物の家族が可哀想じゃないかな。
 - 捕まえたい気持ちも分かるな。



大事に育てたら優しさが伝わる
んじゃないかな？



深める

話し合いの中で出てきた問いについて、さらに話し合う。

- ★大事に育てることは、生き物に優しくすることにならないのだろうか。
 - 大事にしたら、気持ちは伝わると思うな。
 - 本当に、その生き物のことを考えたら、狭い虫かごで育てるのは、可哀想だと思う。
 - その生き物はどういう場所に住んでいるのかをよく考えたい。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人の気付きを取り上げながら、クラス全体で共有していくことで、見方・考え方を養っていく。

見通す

学習したことについて感想をもち、今後に生かしていきたいことを考える。

- ★生き物に優しくするとは、どういうことだと考えましたか。話し合ってみましょう。
 - 生き物の立場に立って考えたい。
 - 生き物について、よく知ることが大切だと思う。
 - 生き物に合った住む場所があると思った。
- ★最後に先生の話をお聞きしましょう。



幼児期の遊びを通した学び

と

特別の教科 道徳 友情、信頼

とのつながり



遊びを通した学び
「ここの方がいいよ」「ほくにも貸して」など、友達と話し合い、時には意見の違いに折り合いを付けながら、友達と一緒にはしごをつくりあげている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

道具の準備をし、道具を安全に使うことができるように見守ります。同時に、自分たちではしごをつくりあげることができる場所と時間を保障します。このような遊びを通して幼児は、友達と一緒にやり遂げた喜びを味わっていきます。



遊びを通した学び
「ポテもつくだない?」「いいね!」お店屋さんごっこで使うものをイメージし、自分の意見を伝えたり、友達の思いや考えに共感したりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児のこれまでのお店屋さんごっこの経験を思い出すことができるようにします。そして、どうしたら盛り上がったか聞いてみるようにします。このような援助は、幼児が自分自身のよかったことや足りなかったことに気づき、実践しようという意欲の高まりにつながっていきます。



遊びを通した学び
「この高さはどう?」「待って。こっち側の方がいいよ」と友達と一緒に試行錯誤しながら遊んでいる。



遊びを通した学び
「そっち持って」「引っ張るよ」と屋根のシートを付けるために、友達と協力したり、相手のことを思いやったりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

一人では持てない大きなシートを準備することで、友達と声を掛け合いながらシートを上からかけたり、中から引っ張ったりすることができるようにします。このような遊びを通して、幼児は友達と助け合ったり、協力したりすることの大切さを実感していきます。



遊びを通した学び
「幼稚園に怪獣がいる」と園庭に残された大きな足跡を手掛かりに、イメージしたことを伝え合っている。



遊びを通した学び
「私、最後に走りたい」「ほくも最後にいい」と意見が重なっても、自分たちで話し合い、相手を思いやって譲っている。



幼児教育を通して育まれた10の姿

- 協同性
- 道徳性、規範意識の芽生え

※これらの活動では他にも「思考力の芽生え」「健康な心と体」「言葉による伝え合い」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「友情、信頼」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。



小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 友達の気持ちに共感したり、折り合いを付けたりしながら、友達と仲よく活動すること
- 友達と関わる中で、共通の目的の実現に向けて、協力したり、助け合ったりすること

幼児期の遊びを通した学び

友達と助け合ったり協力したりすることの大切さを感じている。
友達と話し合い、折り合いを付けながら、一緒に活動している。

ねらい

友達がいることで、互いに助け合ったり、より仲よくなれたりするというよさに気付き、他者との関わりの中で、自らの体験場面と重ね合わせて多面的・多角的に考え表現することを通して、自分自身の生き方を見つめながら、友達と助け合って生活していこうとする道徳的判断力を育てる。

内容項目

①第1学年及び第2学年

友達と仲よくし、助け合うこと。

②第3学年及び第4学年

友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。

③第5学年及び第6学年

友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。

【授業展開例】

気付く

子供自身の友達についての捉えを発表し合い、考えていきたい問題に気付く。



- ★友達ってみんなにとって、どんな人ですか。
 - 一緒に遊べる人。
 - 何か貸したり借りたりできる人。
- ★そんな友達がいると、どんないいことがあるかな。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期における友達と協働的に活動した経験を事前アンケート等で想起できるようにする。

ともだちがいるよさとは、なんだろう。

さぐる

教材を読んで、考えていきたい問題について話し合う。



- ★お話を聞いて、どんなことを思ったかな。
 - うさぎさんが優しい。
 - この後、きつねさんが、どうしたのが気になる。
- ★この後、2人はどうなるのだろう。実際に、動物になってお話ししてみよう。
 - ごめんね。ぼくが見付けたどんぐりもあげるよ。
 - 2人でどんぐりを食べよう。



お面をかぶって
なりきってお話したいな！

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期のごっこ遊びの経験を生かして、登場人物の気持ちを考えた役割演技ができるようにする。



見付ける

登場人物にとっての友達がいるよさについて話し合う。



- ★2人に、友達がいるよさがあるだろうか。
 - 助けてもらえるよ。
 - 役に立って嬉しいと思うよ。
 - 片方にとってのよさしか分からないな。
 - 助けた方も、友達の役に立って、嬉しいよさがあるよ。



友達が助かったら、
自分も嬉しくならない？



深める

話し合いの中で生まれた問いについて、さらに話し合う。



- ★友達を助けた方も嬉しい気持ちになるのだろうか。
 - どちらも嬉しくなると思うよ。
 - ぼくも、友達を助けて嬉しかったことがあるよ。
- ★友達は、お互いにとってよいことがある関係なんだね。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人の気付きを取り上げながら、クラス全体で共有していくことで、見方・考え方を養っていく。

見通す

学習したことを振り返り、自分なりの考えをまとめる。



- ★授業を通して、友達がいるよさをどう考えましたか。
 - 友達がいると、お互いに助け合ってどちらも嬉しくなるよさがありそうだね。
 - もっともっと仲よくなれるというよさもありそうだよ。
- ★最後に先生の話をお聞きしましょう。



お話

滋賀県大津市幼保支援課

伊東 直美先生

滋賀県大津市立石山小学校

忽那 沙知先生

特別活動の特徴

特別活動は、子供たちが仲間と共に様々な集団活動をする中で、「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせ、互いのよさを生かしながらよりよい人間関係を形成し、自分たちの力で明るく楽しい学校生活をつくりだすために取り組み、自分のよさや可能性を生かしてなりたい自分に向けて諦めずに努力をするなどの資質・能力を育む教育活動です。

幼児期の子供たちは、遊びの中で自分を発揮しながら友達と関わり、一緒に活動する楽しさや協力してできた喜びを感じています。一緒に遊ぶ楽しさを味わっているので、思いがぶつかったり、自分も友達も楽しく遊べる方法を考え、譲り合うなどしてきました。また、「もっと楽しく遊びたい」と感じたときに、遊び方を工夫したり、ルールをつくったり変えたりしてきた経験もあるはずです。

このような遊びの中で培ってきた人との関わりに関する学びをもとに、小学校では、さらに人間関係や活動の範囲を学級や学校に広げていきます。

幼児期の遊びを通した学び

幼児期は、友達と関わる中で、様々な出来事を通して多様な感情体験をし、友達との関わりを深めていきます。友達や保育者と生活を共にする中で、気付きや必要感をもって、自分たちでルールやマナーなどを考えているのです。

具体的には…

- 自分たちが遊びや生活の中で気付いたことや困ったことを、その場で友達と話し合ったり、クラスみんなで考えたり振り返ったりして、明日の遊びや生活に生かそうとする
- 自分の身の回りの持ち物や遊びで使うものを、自分たちが使いやすいように並べて準備したり片付けたりする
- 小学校への憧れの気持ちをもち、小学生や先生と交流したり、小学校へ遊びに行ったりすることを楽しむ。また、自分たちの遊びの中でも小学校で体験したことを再現するなど、小学校生活をイメージしながら楽しみにする

幼児期の 遊びを通した学び

と

特別活動 学級活動(1)

とのつながり



遊びを通した学び
うさぎのお世話で…
「ご飯を食べて大きくなってね」と、自分にできることを考えながら世話をしたり、友達と仕事を分担したりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成
生き物と触れ合う中で、思いを寄せたり自分たちに何ができるのかを考えたりします。自分の思う通りにいかないことにぶつかりながら、相手の立場に立って考えることにもつながります。



遊びを通した学び
当番活動を通して…
「今日のお休みは0人です」
クラスの一員として友達と一緒にできるお仕事を考え、欠席カードを職員室に届けに行っている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成
クラスの中で自分にできることを考えたり、役に立つ喜びを感じたりしていきます。子供が「これがしたい」と思えるように投げかけることで、必要感をもって取り組むことにつながります。



遊びを通した学び
ルールを考えよう！
「順番にしたらどうか」とより楽しくなるように話し合い、ルールを考え工夫しながら遊びを進めている。



遊びを通した学び
誕生会を楽しくしよう…
「こんなお祝いのプレゼントはどうか」とどんなお祝いをすると友達が喜ぶか、相手の立場に立って考えたりやってみたりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成
例年通りではなく、今の子供たちが考えていることをどうすれば実現していけるのか、子供が主体的に企画していけるよう、保育者は思いを引き出すことを大切にします。



遊びを通した学び
振り返りの場面で…
「順番が分からなかったな」遊びの中で困ったことなどいろいろな友達の思いに触れ、伝えたり聞いたりしている。



遊びを通した学び
片付け中…
「こっちから巻くよ」どちらから巻くのか、互いに様子を見合って声を掛けながら、片付けをしている。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 協同性
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「言葉による伝え合い」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「学級活動(1)」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 学級や学校における生活づくりへの参画

学級生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践する力

幼児期の遊びを通した学び

保育者の助けを借りながらどうするとよいかを考え、誕生会の司会をしている。遊びの中で困ったことを出し合い、ルールや順番を変えながら、より楽しく遊べるようにしている。

目標 (知識及び技能) みんなで学級生活を楽しむことの大切さを理解し、基本的な合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
(思考力、判断力、表現力等) 学校生活を楽しむための課題を教師と共に見だし、話し合い、他の児童の意見を聞いて合意形成を図り、仲よく実践することができるようにする。
(学びに向かう力、人間性等) 学級を楽しむために、役割を意識して楽しんで集団活動に取り組もうとする態度を養う。

学習計画 **事前の活動** 自分たちの生活の中から共同の問題を見つけ、議題を選定する。話し合いの計画を立て、自分の考えをもつ。
本時の活動 学級会を開き、みんなで意見を出し合ったり、比べ合ったりしながら話し合う。意見をまとめ、集会ですることや必要な役割を決める。(合意形成)
事後の活動 みんなで決めたことを、役割分担をして、協力して実践する。集会の実践の振り返りをする。

【授業展開例】

事前の活動

学級生活における問題から課題を見付け、議題を学級全員で決定する。話し合いの計画を立て、学級会の準備をする。

- ★1学期みんなでいろいろなことをがんばってきたね。もう少して長い夏休み。しばらくみんなに会えないから、その前にみんなで集会をしたらどうかな。(他の学年のお楽しみ会等の写真を見せて) これまでに集会をしたことはあるかな?
●お誕生日会をしたことがあるよ。 ●七夕集会があったよ。
- ★みんなの力で集会を開いてみよう。1学期をどんな気持ちで終わるといいかな?
●みんなで楽しかったねと思えるといいな。 ●みんなで仲よく遊びたいな。
●楽しく終わったら、2学期もがんばろうと思えるよ。
- ★では、1学期を楽しく終え、2学期もまたみんなでがんばろうと思える「1学期がんばったね集会」を考えよう。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園の生活の中では、どのような集会をして楽しんできたのか尋ね、集会についてのイメージを広げ、小学校ではそれらを自分たちの力でやること知らせ、「やってみよう」という意欲を高める。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

学級会の入門期なので、最初は教師も司会や黒板記録をする。慣れてきたら、司会グループの子供と一緒に教師も司会係になったり、学級会の進め方や気を付けることを全体に指導したりして、学級の全員が、学級会のやり方を理解できるようにする。

1 がっきががんばったねしゅうかいで何をするか決めよう。

★何をするのがよいと思うか、自分の考えを学級会ノートに書きましょう。

出し合う

「話し合うこと」について自分の考えを発表し合う。

- 司: 「1学期がんばったね集会で何をするか」について発表してください。
- ★友達の意見は、「うんうん、〇〇さんは〜と考えたんだあ」としっかり聞きます。
●私は、フルーツバスケットがいいと思います。休み時間にみんなで遊んで楽しかったからです。
●ぼくは、伝言ゲームがいいと思います。みんなで協力できるからです。
●私は、教室を飾りたいです。わけは、保育園のときに飾りがあって、嬉しかったからです。

比べ合う

提案理由の「1学期を楽しく終わって、またがんばろう」と思える集会にするには、何をするのがよいか、賛成意見や反対意見を聴き合い、話し合う。

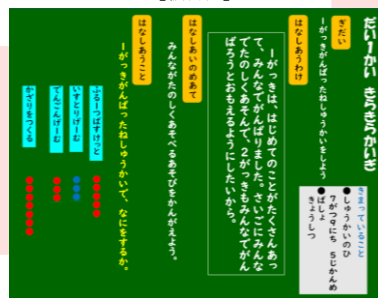
- 司: 「1学期がんばったね集会」では、何をするのがいいと思いますか。
- ★提案理由を考えながら、わけを付けて、意見を言えるといいですね。
●ぼくは、フルーツバスケットがいいと思います。わけは、この前の雨の日に、みんなに人気だったからです。
●私は、いすとりゲームは、座れなくなったら参加できなくなるので、ずっと遊べる遊びがいいです。

まとめる

いろいろな意見の違いを認め合い、折り合いを付けながら、みんなで「1学期がんばったね集会」ですることを決める。(合意形成)

- ★たくさん意見が出ましたね。どれも楽しそうだけれど、全部はできないね。どうやって決めようか?
●鬼ごっこに賛成の人が多かったから、それに決めるのがいいと思うな。
- ★賛成の意見が少ないものも、大切な意見だから、どれも大切にしようね。
- ★似ている遊びはどれかな?(先生が出た意見を黒板で分類・整理していく。)(早く決まれば、残った時間で役割分担をし、実践につなげる。)
- ★どんな役割があれば、「1学期がんばったね集会」ができるかな?
●司会をする人がいるね。 ●はじめと終わりに言葉を言う人がいたよ。
●幼稚園のときに、プログラムがあったよ。 ●教室の飾り係をしたいな。

【板書例】



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

これまでにやってきた集会のプログラムや進行を思い出させ、役割分担を決めることで、当日は子供たちの力で進められるようにする。

事後の活動

1. 決めたことを実践する。みんなで「1学期がんばったね集会」をしよう。
2. 集会でがんばったことやできるようになったことを振り返る。

- ★今日の集会は何のためにするのですか? 今日がんばることは何ですか?
●楽しく終われるようにするんだよ。 ●お友達に優しくしたいな。
- ★「1学期がんばったね集会」は、みんなで協力してできましたね。お友達のがんばっていたところを見付けられましたか?
●プログラムに絵があって、楽しかったよ。
●飾りが間に合わないとき、〇〇さんがみんなに手伝ってあげてと呼びかけてくれて嬉しかったよ。
- ★2学期もみんなで学級会をして、楽しい1年〇組さんにしようね。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

実践を終えた後は、互いのよかったところや次にやってみたいことを振り返り、次の学級会につなげる。

幼児期の 遊びを通した学び

と

特別活動 学級活動(2)

とのつながり



遊びを通した学び

お茶を飲んでいたら…
「こぼれちゃった」「雑巾、ここに
あるよ」と、自分たち
で考えて困りごとに対応
していく。みんなで使う
場を心地よく整えようと
している。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

いつでも誰でも使えるように、決まった場所に雑巾などを用意してあります。保育者は片付ける姿を見せたり、「どうしたらいいかな」と周囲に投げかけたりして、自分たちで解決に向かえるようにします。



遊びを通した学び

片付けの時間…
「明日も使うからここに置
いておこう」と、明日の遊
びへ見通しと期待をもっ
て、片付けを楽しんで
行っている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児たちが自分たちで決めたということを大切にします。今日感じたことを振り返ることができるような投げかけをすることで、明日への思いがより具体的になっていきます。



遊びを通した学び

地震がきたら…
「ダンゴムシみたいにまるまって」と、
言葉や動きでどう行動したらよ
いのか知り、やってみようとする。



遊びを通した学び

話し合いの場面で…
「なんでいけないの？」
「だって…だから」と、相
手の言葉を聞き、違い
に気付いたり、どうす
ればよいか考えたり
する。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

気持ちの出し方が端的で相手に伝わりにくい場面もあります。相手に伝わった嬉しさを味わえるよう、保育者が受け止め具体的に言い方を示したり、意図的に伝え合いの場面をつくり、寄り添う気持ちを育みます。



遊びを通した学び

お弁当の時間…
「みんなで食べるとおいしいね」と、
友達と一緒に弁当を楽しく食べ、
食事のマナーを知ったり食べ物へ
の興味・関心をもったりする。



遊びを通した学び

身支度の場で…
「見て、服がたためるようになったよ」保育者に認められ、喜んで自分のスモックをたたんだり片付けたりする。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 道徳性・規範意識の芽生え

※これらの活動では他にも「自立心」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」などの姿も見とれますが、ここではあえて「学級活動(2)」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 基本的な生活習慣の形成
- 身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度のある生活にする力

幼児期の遊びを通した学び

遊び終わったら使ったままにせず、次に使う人のことも考えて進んで片付けたり、「明日も使うからここに置いておこう」と明日の遊びへの期待を込めながら、片付けも楽しんで行う。

目標

- (知識及び技能) 自己の身の回りの整理整頓に係る諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けるようにする。
- (思考力、判断力、表現力等) 自己の身の回りの整理整頓に係る諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、意思決定して実践することができるようにする。
- (学びに向かう力、人間性等) 自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を築こうとする態度を養う。

学習計画

事前の活動

自分の持ち物の片付けができているかアンケートをする。

本時の活動

身の回りを自分できれいに片付けるよさに気付き、どうしたら片付けができるのか、解決方法を話し合い、自分のめあてを決める。(意思決定)

事後の活動

自分が決めたことを実践する。帰りの会で、ワークシートに印をつけながら、振り返りを行う。

【授業展開例】

つかむ

身の回りを整理整頓することについて、課題に気付く。



- ★(学習で使うものが見付からずに困っている様子の絵等を見せて) この子はどうしたのかな？
 - 物がなくて困っているよ。
 - 片付けをしなかったからだよ。
- ★片付けができないと、どうして困るのかな？
 - ノートや教科書がないと勉強ができないよ。
 - 友達を待たせちゃうよ。
 - ロッカーからランドセルがはみ出ているとつまずいて危ないよ。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園でも、毎朝登園後の身支度や片付けをしてきた。それらの経験を思い出させ、物が増えた小学校でどうすればよいかを考えられるように、園の棚や靴箱の写真を用意する。



じぶんもみんなもきもちよくすごすためには、どのようにせいとんすればいいのかな？

さぐる

片付けがうまくいかない原因を明らかにして、身の回りをきれいにする必要性を実感する。



- ★園では、どんなものをどこに片付けていたかな？
 - かばんや帽子は、毎朝棚に入れていたよ。
 - のりやはさみは入れるところがあつたよ。
- ★園でもやってきたけれど、今、片付けができなくて困っているのは、どうしてかな？
 - 算数セットとか体操服とか、使うものが増えたから片付けが大変になったよ。
 - 机の中やロッカーと、片付ける場所が多くなったよ。



グループの友達と一緒に考えよう！！

見付ける

みんなで話し合い、身の回りをきれいに使いやすく片付けられる方法を考える。



- ★小学校で増えた道具を片付けるときに、困っていることは何かな？
 - 引き出しと大きさが合わなくて困ってるよ。
 - 机の横にかけている袋が汚れて困つたよ。
- ★みんなどうしているかな？困っている人に教えてあげて。
 - いつも入れる場所を決めておくといいよ。
 - 細かいものは、袋にまとめるといいよ。
- ★実際に自分のものを片付けてみよう。

〇〇さんと同じように入れたらうまくできた！



決める

話し合ったことや片付けをやってみたことをもとに、これからがんばる具体的なめあてを一人一人が決める。(意思決定)



- ★みんなでやってみて、片付ける方法に気付いたね。これから自分ががんばることを考えましょう。
 - 引き出しの中がぐちゃぐちゃにならないように、決めたところに入れるのをがんばる。
 - 下駄箱に靴を置くときは、きれいに見えるように、かかとをきちんとそろえる。
 - 廊下に体操服袋が落ちていたら、声を掛けたり、拾ってかけてあげたりしよう。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人のめあてを聞き合い、学級全体で共有していくことで、小学校はみんなで一緒にがんばるという意識付けを行う。

事後の活動

1. 決めたことを実践する。みんなで「1ねん〇くみ きれいだいさくせん」をしよう。
2. 自分で決めたことができたか振り返る。

- 引き出しに入れる場所を決めたから、はみ出すことがなくなったよ。
- 使ったらすぐに元の場所に片付けるようにしたら、用意も早くなったよ。
- △△さんが、きれいだねってほめてくれて、嬉しかったよ。これからはがんばる。
- さんに教えてもらったから、もっときれいになったよ。
- 6年生の下駄箱は、ピシッとそろっていたよ。

～ができるようになったから、次は～しよう！



私たちがあんな風になれるようになりたいな。

- ★自分で決めたことを振り返って、できることをもっと増やしていこうね。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

ワークシートを用意し、毎日自分で決めたことができたかの振り返りを行うとともに、友達のがんばりも認め、励まし合いながら実践できるようにする。

幼児期の 遊びを通した学び

と

特別活動 学級活動(3)

とのつながり



遊びを通した学び

小学生との交流を通して…
「5年生って、かっこいいね」
交流で出会った5年生と一緒に過ごすことを楽しみ、憧れの気持ちをもっている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

小学生のお兄さん・お姉さんや先生と出会う機会をもつことで、幼児が小学校を身近に感じたり、期待をもったりしていきます。小学校入学後も知っている人がいるという安心感にもつながります。



遊びを通した学び

自分の目標に向けて…
「竹馬に乗れるようになりたい」自分なりに決めた目標に向けて、取り組んだり、できるようになった喜びを感じたりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児自身が目標を立てる過程に寄り添い、立てた目標を大切に、取り組む姿を励ましたり見守ったりします。取組の過程で、幼児の努力や成長を見逃さず認め、自信や喜びにつなげていきます。



遊びを通した学び

出前授業で…「小学生みたい。やってみてほしいね」学校の先生に教えてもらい、自分で書いたり質問したりして、小学校の生活を知る。



遊びを通した学び

一年間を振り返って…
「お誕生日おめでとう」自分の成長を感じるとともに、友達を祝ったり、祝ってもらうことを喜んだりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

誕生会やお別れ会、修了式などを通して、友達だけでなく保護者と共に成長を感じ、喜び合える場や機会をつくっています。幼児が、大きくなった自分の成長をたどる視点を示し、十分に認めています。



遊びを通した学び

絵本コーナーで…
「このたねはなんだろう」自分の知りたいことに合わせて、必要な情報を調べようとしている。



遊びを通した学び

運転手さんとの話の中で…
「どんなお仕事しているの？」身近にいる人の仕事について興味をもち、質問したり一緒に仕事を体験したりしている。



幼児教育を通して育まれた10の姿

● 社会生活との関わり

● 自立心

※これらの活動では他にも「協同性」「豊かな感性と表現」「道徳性・規範意識の芽生え」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「学級活動(3)」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。



小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

● 一人一人のキャリア形成と自己実現

「なりたい自分」に向けて目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする力

幼児期の遊びを通した学び

自分なりに「～できるようにになりたい」と目標を決めて、遊んでいる。
「カマキリのエサは何かな？」生き物を育てるときに、絵本コーナーで調べている。

| | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 目標 (知識及び技能) 働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、行動の在り方を身に付けるようにする。 (思考力、判断力、表現力等) 2年生に向けての自己の生活の課題を見だし、よりよい解決のために話し合い、意思決定して実践することができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等) 現在の生活をよりよく生きるために、自分に合った3学期の目標を立て、目標の達成を目指しながら主体的に行動しようとする態度を養う。 | | | |
| | 学習計画 事前の活動 1・2学期に楽しかったことアンケートをとり、それらの写真を教室に掲示しておいて、子供たちが1・2学期を振り返れるようにしておく。 | 本時の活動 入学前や入学してからのことを思い出す。1年生になって成長したことを実感する。3学期のめあてを決める。(意思決定) | 事後の活動 帰りの会で振り返りを行う。自分の立てためあてについて、振り返る。 |

【授業展開例】

つかむ

入学する前の気持ちや入学式のことを思い出し、課題に気付く。

- ★ (入学前の交流や出前授業、入学式等の写真を見せて) 入学するときはどんな気持ちだったかな？
 - ランドセルを買ってもらったときは、嬉しかったな。
 - 早く学校に行きたかったよ。 ●学校はどんなところかドキドキしたよ。
- ★ 4月からみんなは2年生ですね。どんな2年生になりたいですか？
 - 新しい1年生に優しい2年生。 ●何でもがんばる2年生。
 - 新しい1年生にかっこいいと思われたいな。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期から小学校に入学してきたころの写真を見せ、その時の気持ちを思い出しながら、一人一人が成長してきたことに気付かせる。

「なりたい2年生」にむけて、どんなことをがんばればいいかな？

さぐる

1・2学期にあった出来事や学校行事を思い出し、自分たちの成長を話し合う。

- ★ 1・2学期に、みんなでどんなことをしてきたかな？
 - 遠足で□□公園に行ったよ。 ●音楽会でみんなで合唱をしたよ。
 - みんなで合唱をしたよ。 ●運動会でダンスを踊ったよ。
 - 生活科でおもちゃランドをして、たくさんお客さんが来てくれたよ。
- ★自分ががんばったことやできるようになったことには、どんなことがありますか？
 - 掃除の時間にたくさん机を運べるよ。 ●給食を残さず食べられるようになったよ。
 - たし算やひき算が早くなったよ。 ●ノートの字をきれいに書くことができるよ。
 - 友達と仲よくできたよ。 ●忘れ物をしないように用意しているよ。
- ★みんなそれぞれ、1年間でたくさんできるようになったね。

1年間でできたことがたくさんあるね!!
だから次は、～ができるようになりたいな

見付ける

なりたい2年生に向かって、3学期にがんばることを話し合う。

- ★はじめに○○な2年生になりたいって言ってたけれど、3学期にどんなことをがんばればよいか考えてみよう。新しい2年生にかっこいいと思われるには…？
 - 大きな声であいさつできるようになれば、かっこいいと思ってもらえるんじゃないかな。
 - 下駄箱の靴がきれいそろっているとほめてもらえると思うな。
- ★何でもがんばる2年生になるためには…？
 - 苦手なことにも挑戦することが大切なんじゃないかな。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

はじめに子供の発表で出てきた「なりたい2年生」になるためにがんばることをみんなで話し合い、自分に合った具体的なめあてが立てられるようにする。

決める

話し合ったことをもとに、「なりたい2年生」になるためにがんばるめあてを一人一人が決める。(意思決定)

- ★自分がなりたい2年生になるために、3学期にがんばることを決めましょう。
 - 1年生に優しい2年生になれるように、友達にふわふわ言葉を使うようにします。
 - 1年生のお手本になりたいから、掃除の時間に隅々までしっかり雑巾をかけたり、ほうきでたくさんゴミを集めたりすることをがんばろう。
 - 私も1年生の見本になりたいから、トイレのスリッパや下駄箱の靴をそろえることをがんばる。
 - 勉強をがんばる2年生になりたいから、いっぱい手を挙げて発表できるようにします。
- ★お隣の人のめあてを聞きましよう。これからの1週間がんばっていることをお互い見付け合いましよう。

事後の活動

決めたことを実践する。一人一人めあてを書いてみんなが見えるところに掲示し、振り返りを行いながら実践をする。

- ★ (帰りの会等で…) 今日自分のめあてをがんばっていた人はいましたか？
 - さんが、今日の国語の時間に丁寧な字で書いていたよ。
 - △△さんは、今日の朝、校長先生に大きな声であいさつをしていたよ。
 - さんが、トイレのスリッパをきれいにそろえているのを見かけたよ。
- ★これから先もずっと自分ががんばったことが分かるように、「キャリア・パスポート」に振り返りを書いて残しましよう。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

自分で決めたことをがんばっている子供の様子を写真等で紹介し、友達のがんばりも認め、励まし合いながら実践ができるようにする。

幼児期の 遊びを通した学び

と

特別活動 学校行事

とのつながり



遊びを通した学び

運動会では…
「私もあんな風に踊りたいな」5歳児の姿を見て憧れの気持ちをもったり、お互いに教え合ったり、違う学年と活動することを楽しんでいる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

異学年が自然と関わりがもてるよう、場を近付けたり、取り入れやすいリズムや活動を計画したりします。保育者もクラスも超えて幼児と関わることで園全体で幼児たちを見守る風土を育てます。



遊びを通した学び

作品展では…
「ほくの電車とつなげてみよう」友達のつくった作品から刺激を受け、自分でもつくってみようとしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

自分がこだわって作った部分や、友達のすてきな部分など、互いの作品のよさを具体的に認めています。また、生活経験を存分に生かしていけるよう、必要な用具や材料を子供と共に準備していきます。



遊びを通した学び

交通安全では…
「ほくたちのことを守ってくれてありがとう」警察の方に園に来てもらい、自分の身を自分で守る方法を知る。



遊びを通した学び

地域行事では…
「焼いてくれてありがとう」地域の方と一緒に焼き芋づくりを楽しんだり、地域にはいろいろな方がいることを知ったりしている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

地域の方との出会いの場をつくり、人と触れ合う温かさや感謝の気持ちを育てます。園だけではできない経験が、子供たちの豊かな感性を育みます。



遊びを通した学び

飼育栽培では…
「何が出てくるかな」と、種や球根を植えることを楽しみ、見通しをもって育てようとしている。



遊びを通した学び

大掃除では…
「幼稚園をピカピカにしよう」今まで使ってきたものに愛着や感謝の気持ちを持ち、大切に扱おうとしている。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 協同性
- 社会生活との関わり

※これらの活動では他にも「自立心」「思考力の芽生え」「豊かな感性と表現」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「学校行事」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 集団活動の意義を理解し規律ある集団行動の仕方を身に付けたり、することのよさについて考え、集団で協力して取り組んだりする力
- 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとする態度

幼児期の遊びを通した学び

運動会に向けた5歳児の練習の様子を見て、「あんな風に踊りたい」と憧れの気持ちをもつ。お世話になった地域の方に焼き芋大会に参加してもらい、感謝の気持ちを育てている。

| | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 目標 (知識及び技能) 運動会の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方を身に付けようとする。 (思考力、判断力、表現力等) 集団活動を通して、運動することのよさについて考えたり、集団で協力して取り組んだりすることができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等) 運動に親しみ、楽しさを味わいながら、体力の向上に取り組もうとすることができる。 | 事前の活動 運動会の意義を理解する。児童会の目標や児童会種目の内容について話し合う。 | |
| | 体験的な活動の実践(本時) 体育等で、学年の種目について、練習をする中で、他者との協働による実践を行う。運動会に向けてめあてを立て、振り返りながら実践を行う。 | 事後の活動 活動の振り返りを行う。日常生活、次の学校行事や次年度の学校行事に生かせるようにする。 |

【授業展開例】

事前の活動

小学校の運動会のイメージをもって活動に取り組めるようにオリエンテーションをする。

★園での運動会はあったかな？ どんなことをしてきたのか教えて。

- かけっこやリレーをしたよ。
- 三角竹馬や跳び箱とか、得意なものをみんなの前で見せたよ。
- バルーンを年長の人と一緒に練習して発表したよ。
- たくさんのお家の人が見に来て、一緒にお弁当を食べたよ。

小学校の運動会も楽しそう！

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園で行ってきた運動会は、内容も規模も園によって様々だろう。小学校の運動会の様子を写真や動画で見せ、子供たちが安心してできるように、イメージをもたせながら、運動会の意義や目的が分かるようにする。

★(昨年度の運動会の写真や動画を見せながら) 小学校の運動会はどうですか？

- 保育園のときに、練習を見に来たよ。お兄ちゃんたち、速かったよね。
- 運動場が広いけれど、大丈夫かな？ みんなで合わせるの大変そうだな。
- 他の学年の人や家の人など、みんなの前で発表するんだね。
- 応援もするんだね。面白そう。

運動会の練習

学年種目や種目の練習を行う。(練習の中で、友達や集団のよさ、共に活動する楽しさを味わえるようにし、振り返りを行いながら、集団への所属感を高めていけるように仕組んでいく。)

- みんながそろってきれいになったよ。
- 〇〇さんが、私の立つ位置を教えて助けてくれて、嬉しかったな。
- △△さんが玉入れのコツを教えてくれたから、たくさん入ったよ。
- みんなが応援してくれたから、ゴールまでがんばって走れたよ。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園の運動会の練習でも、友達を応援したり、作戦を立てたり等の経験をしてきている。それらの経験を学級生活づくりに生かす。

★一人でできなかったことも、みんなと一緒にだとできるようになるね。

★友達を大きな声で応援したり、助けたりして、みんなで仲よくなれたね。学級の合言葉は「にこにこくみ」だね。(子供たちの気付きを認めて広げていく。)

★6年生のお兄さんやお姉さんは、どうでしたか？

- バトンパスが速くて上手ですごかったよ。
- 応援合戦の団長さんの声がかっこいいよ。あんな風になりたいな。

めあての決定

運動会の練習が始まったら、学級活動(3)の授業で、初めての運動会に向けて、自分のめあてを決める。

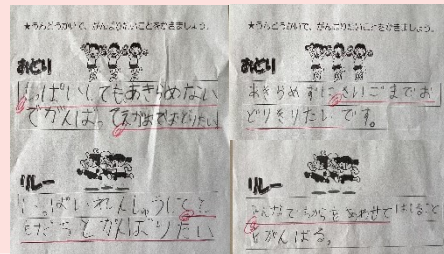
★運動会はどんな日にしたいですか？

- ダンスを間違えないように踊りたいなあ。
- リレーをみんなでがんばりたい！
- みんなが笑顔で楽しい日にしたいな。
- 一生懸命に走ったり跳ったりしたいな。

一人一人が目標をもって！

★運動会に向けて、自分ががんばりたいことを決めましょう。

- 玉入れで1番になりたいから、休み時間に練習する。
- ダンスを家族に喜んでもらえるように、覚える。
- 早く並べるように、みんなに声を掛ける。
- 楽しい運動会にするために、応援を大きな声でする。



運動会当日

一人一人が達成感を味わえるように教室で声掛けをし、当日のプログラムに沿って行動する。

★今日がんばりたいことは何ですか？(一人一人が、運動会のめあてを思い出し、目標をもって学校行事に参加できるように声掛けをして、教室を出発する。)

★(運動会が終わったら、帰りの会で)初めての運動会、みんながんばりましたね。今日がんばったことは何ですか？

- 6年生の人と一緒に、大きな声で応援をがんばったよ。

事後の活動

1年生の運動会の振り返りをし、次の行事や来年の運動会への意欲を高める。

★運動会でみんなができるようになったことは何ですか？

- 諦めずに最後までがんばれたよ。
- 並ぶのが早くできるようになったよ。でも、6年生はまっすぐできれいだっとな。

★これからの生活の中でも、できるようになったことを生かしていきましょうね。そして、もっともっとすてきな1年〇組にしましょうね。



「幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？」 作成協力者

幼児期及び幼保小接続期の教育の理解増進事業 実行委員

(敬称略・五十音順)

| | |
|---------|--------------------------------------|
| 青木 一永 | 社会福祉法人檸檬会 副理事長 |
| 秋田 喜代美 | 学習院大学 教授 東京大学 名誉教授 |
| 伊藤 唯道 | 順正寺こども園 園長 |
| 大豆生田 啓友 | 玉川大学 教授 |
| 岡林 律子 | いの町立伊野小学校 校長 |
| 田村 学 | 國學院大學 教授 |
| 無藤 隆 | 白梅学園大学 名誉教授 |
| 村地 和代 | 滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課 指導主事 |
| 渡邊 英則 | 港北幼稚園 園長 幼保連携型認定こども園ゆうゆうのもり幼保園 園長 |

教科調査官等

(敬称略)

| | |
|--------|---------------------------------------|
| 大塚 健太郎 | 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 (国語) |
| 笠井 健一 | 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 (算数) |
| 齋藤 博伸 | 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 (生活・総合的な学習の時間) |
| 志民 一成 | 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 (音楽) |
| 小林 恭代 | 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 (図画工作) |
| 塩見 英樹 | スポーツ庁政策課教科調査官 (体育) |
| 堀田 竜次 | 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 (特別の教科 道徳) |
| 安部 恭子 | 文部科学省初等中等教育局視学官・教育課程課教科調査官 (特別活動) |
| 横山 真貴子 | 文部科学省初等中等教育局幼児教育課幼児教育調査官 |
| 平手 咲子 | 文部科学省初等中等教育局幼児教育課教科調査官 (幼児教育) |

※職名は令和6年3月1日現在

本報告書は、文部科学省の令和5年度「幼児期及び幼保小接続期の教育の理解増進事業」を受け、株式会社ベネッセコーポレーションが取りまとめたものです。
したがって、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承諾が必要です。